

理工学研究科

教育プログラムの名称：物質化学工学専攻

授与する学位の名称：修士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（物質化学工学専攻・博士前期課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1. 応用化学、化学工学及びバイオ工学の基礎知識と、それらを応用する能力を身に付けている。
2. 科学技術に関する知識・情報を的確に把握する能力と、生涯にわたって自発的かつ継続的に学習できる能力を身に付けている。
3. 論理的な思考力と記述力及びコミュニケーション力を身に付けている。
4. 豊かな発想力と高い行動力を持って、計画的に仕事を進め、課題を解決する能力を身に付けている。
5. 国際的な視点から多面的に物事を捉え、課題解決を先導できる能力を身に付けている。
6. 考察と議論を通して広い視野で応用化学、化学工学に関する研究を進め、高度な学位論文を執筆できる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、物質化学工学専攻（博士前期課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 物質化学工学の基礎から先端分野に及ぶ体系的な授業科目を配置する。
2. 学位取得後に社会で学生の能力が発揮できるよう、応用力を養う授業科目を配置する。
3. 専門的かつ多面的な考察を通して物質化学工学分野に関する論文を執筆できるべく、適切な助言・指導を行う。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- ・専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- ・専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探求や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- ・自ら考えて決断、行動する力
- ・他への思いやりの心、協調性と高い倫理観

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- （１）一般入試（学力検査等（筆記試験、面接及び口頭試問並びに外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- （２）社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- （３）外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- （４）推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）